

# 国際関係概論 2

林 光\*

2007年4月19日 木曜日

## 0 事務連絡

### 成績評価の件

試験に決定．詳細未定．

### レポートの件

適宜お題を出し，それに対するレポートを受け付けます．添削サービスつき．希望者のみ．成績評価とは無関係．我こそはと思う方はどうぞ．

### 出欠確認を兼ねたコメントカードの件

毎回紙片を配付する予定．裏に質問・批判・要望・その他なんでも書き込んで提出してください．

### 板書の件

あまり板書しない予定．当方の話す内容を訓練だと思っとうまくノートにまとめてください．

### 書誌情報の件

1. Understanding International Conflicts (J. Nye)
2. アクセス国際政治経済論 (河野勝, 竹中治堅)  
日本経済評論社
3. 国際関係 (鈴木基史)  
東京大学出版会
4. 国際関係理論 (吉川 直人, 野口 和彦)  
勁草書房
5. 現代国際関係学 歴史・思想・理論 (進藤栄一)  
有斐閣

\*授業内容・連絡先は当面以下のページを参照のこと．  
<http://www.geocities.com/hikachu/>

## 1 前回の復習：第一イメージ

”Where are the major causes of war to be found?”

A1 “Within man”

A2 “Within the structure of the separate states”

A3 “Within the state system”

A1 人間の本性 / 業が戦争の原因! ex ユネスコ憲章<sup>1</sup>  
教育 / 啓蒙が大切!

しかし本当にそれで戦争はなくせるのか?

例:

「かけっこ負けるのはなぜ? 足が遅いから」  
では身も蓋もない．それを言っちゃおしまい．  
「試験に通らないのはなぜ? 頭が悪いから」  
「異性にもてないのはなぜ? ださいから」  
聞き手は恐らくそんな反応は望んでないだろう．  
聞きたいのはそれらを前提とした上での処方箋．

戦争の話に戻すと，

primary cause=human nature

secondary cause=暴力を抑止する制度の不在  
前者は仕方ないとして，後者をなんとかできないか?

それに「諸国民間の理解 平和」は怪しい．相互の理解が深まるほど相手が疎ましくなることも．

## 2 戦争の発生 2：第二イメージ

A2 国家体制が戦争の原因! ex ファシズム，軍事政権  
国内体制を民主化 / 社会主義化<sup>2</sup>すればいい!

<sup>1</sup>...since wars begin in the minds of men, it is in the minds of men that the defenses of peace must be constructed

<sup>2</sup>しかし「労働者に祖国はない」は第一次大戦で裏切られた．中ソ，中越間の戦争という残酷な現実もある．

しかし本当にそれで戦争はなくせるのか？  
近年大流行した「デモピー」を見てみよう。

ちなみにカントの永遠平和論の三つの柱（現代版）

- 政治的自由化・民主化
- 経済的相互依存
- 国際法・国際組織

## 2.1 Case for Democratic Peace

「民主主義国同士はめったに戦わない」  
素朴な説明1「規範」  
素朴な説明2「制度」

## 2.2 Case against Democratic Peace

命題「民主制 × 戦争」に対して

- ・実は「ランダムチャンス × 戦争」ではないか？
- ・実は「冷戦 × 戦争」ではないか？
- ・むしろ「民主制 × 戦争」ではないか？
- ・むしろ「民主化途上 戦争」ではないか？

定義「戦争」に対して

- ・恣意的（千人以上という基準で例外化）

定義「民主制」に対して

- ・主観的（米国との相似性や過去の関係で決まる例）

説明「規範」に対して

- ・デモピー < 現実主義（民主国同士のニアミス例）

説明「制度」に対して

- ・カントのと違う（共和制）
- ・非民主主義国にも働くはずではないか？